

第1～3回ベトナム青年技能実習生

採用ご説明・意見交換会

概要

○日時

第1回：2018年8月30日（木）15時00分～16時30分（受付開始14時30分～）

第2回：2018年9月6日（木）15時00分～16時30分（受付開始14時30分～）

第3回：2018年9月13日（木）15時00分～16時30分（受付開始14時30分～）

○場所

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-1-1 麹町ダイヤモンドビル 9階
レコフ社「講堂」

○内容（回ごとに登壇者に変更有）

【1】ご挨拶

会長・代表理事 井口 武雄（会長不在時代理：専務理事 藤岡文七）

【2】フォーラムのベトナム青年技能実習（監理）事業が目指すところ

専務理事 藤岡 文七

【3】フォーラムの実習監理事業と同実習生採用募集について

技能実習担当理事 塚田 育久

【4】エスハイ（実習生送出機関）の対応

エスハイ社長補佐 清水 寛子

【5】ご挨拶（8月30日）

エスハイ社長 レ・ロンソン

【6】閉会のご挨拶

専務理事 藤岡 文七

【7】終了後、個別相談会を開催（希望者のみ）

○協賛（予定）

ダナン市投資促進支援委員会

（注）本資料は、日本ベトナム経済フォーラム事務局の責任でとりまとめたものです。
今後、追加・修正がありうるにつきご了承をお願い致します。

専務理事 藤岡文七

【1】ご挨拶

会長・代表理事 井口 武雄（会長不在時代理：専務理事 藤岡文七）

<開会のご挨拶>



お忙しい中ご出席いただき大変ありがとうございます。
す。

今朝未明（9月6日時点）、北海道で大きな地震が発生しました。ご関係者等被害にあわれた方に対し、心からお見舞いを申し上げます。

本日のご説明・意見交換会は、日越両国間の持続的発展に向けてのウィン・ウィン関係を築くためのものです。

ベトナムにとっては若い多様な専門人材の育成、また、日本にとっては少子高齢化が進展する中での中堅・中小企業にとっての若い働き手の確保、また、本邦企業にとっては専門人材や技術者の育成を通じてベトナムに進出あるいは投資を大いに促進することにつながります。

フォーラムは組合等の同業者の監理団体ではありません。ベトナムでの若い人材の育成においてトップクラスの実績のあるエスハイ社と提携し、日本の社会、文化等に興味を持ち、日本で働く意欲と向上心を有する若者の力を得て、両国の持続的発展に資する事業を進めるということがこの事業の特色です。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<説明会の様子>



【2】フォーラムのベトナム青年技能実習(監理)事業が目指すところ 専務理事 藤岡 文七

＜ベトナム青年技能実習事業の背景＞

- ①技術・専門人材の育成・確保が本邦企業の投資促進と両国の持続的発展に向けての重要課題である。
- ②本邦中堅・中小企業のアセアンへの展開や担い手不足と確保の動きがある。
- ③日本政府の政策(本邦の若手専門人材不足対応)と新しい在留資格の検討への動きがある。
- ④若い専門人材と技術者の育成はベトナム政府の大きな関心である。
以上のこと等がポイントである。

＜技能実習事業の5つの理念とコンセプト＞

この事業は、**国際協力(基本)、海外展開、企業活力、若手育成及び事業承継**の5つの理念と、「(日越両国の)経済・産業・社会を支える**管理・技術企業及び職人層の日本流育成**」というコンセプトで推進される。



＜ベトナム青年技能実習生受入れの考え方＞

- ①日本企業で働き学ぶ意思と意欲のある若者の育成
- ②入口(実習前教習)から実習中及び出口(実習後)までの一貫した若手育成
- ③ベトナムの優良な送出国(本邦企業向け人材(人財)育成・紹介機関)であるエスハイ社との緊密な連携関係の下での技能実習事業の推進等

＜わが国の持続的発展に向けて＞

- ①「新しい在留資格制度」の創設の動きとの接続と対越投資・企業間連携との強い関係性(ダナン・プロジェクト等との関係)について
- ②技能実習制度における職種の拡大の必要性について
- ③わが国経済社会の若手人材ニーズの強さと若い力を必要とする新たな時代に向けての活力確保等について

我が国の若年人口の構成や低い出生率を見れば、都市と地方を問わず、若手人材不足がますます加速していくことは必至である。ベトナムのような友好国の豊富で有能な若手人材の活用と、また、我が国での存続が難しい分野については、ベトナム(青年)の助けを借りながらのベトナム進出等、ベトナムとの連携の下での発展を考えていく必要がある。

志のある優秀なベトナム青年を技能実習の分野で誤りなく受入れ、自国のみでなく日越連携での発展を図る新しい時代の人材を育成していくシステムを構築していくことが不可欠であり、フォーラムの技能実習事業は、その活動の一環として推進される。

【3】フォーラムの実習監理事業と同実習生採用募集について 技能実習担当理事 塚田 育久

<制度の概要について>

外国人技能実習生の人数は年々飛躍的に伸び、2017 年は 27 万人の外国人が実習している。そのうち 45%がベトナム人でトップシェアである。本制度が抱えるいくつかの課題を解消のために新法が 2017 年 11 月に施行されたが、その中で監理団体は従来の届け出制から許可制となり、その役割は大きいものとなった。



フォーラムは本年 7 月末に、新法設立後「特別な理由がある団体(一般社団法人)」として第 1 号の監理団体許可を受けた。我々もその期待に沿うべく取組んでいきたい。新法の特徴は、①技能実習の適切な実施、②実習生の保護である。

<フォーラム事業の特徴>

フォーラムは、技能実習制度を本来の人材育成策に有効な制度として前向きにとらえ、関係者の成長、発展に貢献していきたいと考えている。

若者の育成を「ホップ(入口)・ステップ(実習中)・ジャンプ(出口)」と一貫して行う。

ホップ：意欲と向上心ある優秀な青年の確保と充実した日本語等の事前教育
(エスハイ社との強い連携)

面接採用後の技能実習計画作成時の受入企業様との合意形成
安価な労働力という誤解の払拭

ステップ：従来の課題を踏まえた実習中のきめ細やかな受入企業様への支援活動
実習生の教育、生活指導支援
実習生保護態勢の整備

ジャンプ：丁寧な出口対応と実習生のステップアップに向けた活動支援(ベトナムの本邦関係企業への就職等)
受入企業様の実習終了後の事業展開支援

実習生採用募集の具体的内容と採用手続きについての概要(略)

【4】エスハイ（実習生送出機関）の対応

エスハイ社長補佐 清水 寛子

<技能実習制度について>

技能実習制度は日本独自の素晴らしい制度である。
（エスハイの）修了生の9割以上は「日本に行ってきた」と思っている。また、多様な技術や見習うべき熟練技術者も多く、実習生を受け入れた企業は実習期間が短いと考えている企業も多い。ベトナムの企業数は日本と比べてはるかに少なく、歴史も浅いため、経験者も多くない。そのため、ベトナムの多くの若者が海外に夢を抱き、今一番行きたい国は日本である。



<エスハイについて>

エスハイは元々、人材育成の学校であり、日本で働きたい若者のための学校である。

- ①ベトナム人材の教育・研修（在校生 3500 名、卒業生 7800 名、うち 3700 名在日）
- ②ベトナム人技能実習生派遣（1880 名（2017 年））
- ③日本国内への高度人材（大卒以上）の紹介（実績 500 名以上）
- ④在越日本企業への管理職（いわゆる高度）人材紹介（実績 500 名以上）

<人材送出・紹介事業について>

実習生送出事業：募集、教育、人材選考、送出し手続き、日本入国後サポート（フォーラム事業においては密接な連携体制（各種相談、事故対応等）の確保）、帰国後サポート（フォーラム事業においては、フォーラムと連携して実習生の就職・キャリアアップ等を支援）

（高度）技術者育成事業：ベトナムの工科系・建築系の大学卒の若者に日本企業向けの研修を実施（機械、自動化・メカトロニクス、電気、電子、IT、建築）

<ベトナム人材活用のカギ>

受け入れる側は、日越間の文化・生活摩擦解消に向けて、家族の重要性（ベトナム語に「社会人」という言葉はない）、時間の考え方のギャップ等、日本語教育と共にビジネスマナーや文化の違い、考え方の違いを理解することが大切である。（例えば、自ら掃除をすること、ラジオ体操の意味等）

実習生本人には、3年間で、お金だけではなく目標をもって実習をすることが（自らの将来のために）大切と教育している。（今のところ）レベルアップ・コースでは、敬語を適切に使えること、IT教育、生産管理等の管理者教育等が必要と考えている。

皆様のご協力とご助言をお願いします。

【5】ご挨拶（8月30日）

エスハイ社長 レ・ロンソン



本日は、ご参加いただきありがとうございます。
ベトナムは決して豊かとはいえません。1990年代より、「海外への労働者輸出」という考え方がありますが、21世紀に入っていくつかの問題が生じてきました。そこで、単なる労働者の送出しではなく、「教育」をして送り出すことが必要であることに気が付き、この事業を実施してきました。

どの国の企業にとっても、時代に対応した志のある優秀な人材が必要であり、そこから生産性の確保・向上や企業活力が生まれます。（日本国にとっても）どこの国からどのような派遣機関の教育を受けて送り出されるのかが大切ではないでしょうか。また、日本の優れた技術が、後継者不足により失われつつあるとも聞いています。ベトナムで生き残りを図っていただくことはできないかと考えております。

エスハイの規模は、実績 7000 名、在籍 3000 名でございます。また、ベトナムの中でも各種大学や専門学校とも提携しています。皆様のご支援のおかげで、ここ数十年の活動を通じ、ベトナムで派遣及び教育の機能を持つ最も大きな機関として育ってきました。

今後、監理団体である日本ベトナム経済フォーラムとの連携の下で活動を行っていくことを考えております。このスキームの中でベトナムの若者が成長し、将来、日越両国の発展に貢献することを信じています、よろしく願いいたします。

【6】閉会のご挨拶

専務理事 藤岡 文七

本日はお忙しい中、ご説明・意見交換会にご出席賜り大変ありがとうございました。弊フォーラムは、国際協力等 5 つの理念の下で、日越両国の経済・産業・社会を支える管理・技術者及び職人層の日本流育成というコンセプトでベトナム青年技能実習制度を運営し、今後、日越経済の持続的発展に向けて貢献して参ります。

技能実習制度はその基盤として、また、現制度はもとより今後整備される予定の新しい在留制度等の発展的活用、ニーズに応じた新たな人材育成システムの検討と構築、両国政府等への適宜の働きかけ等を図りながら、その活動の幅を実践的に広げていきたいと考えております。皆様におかれては、弊フォーラムの機能の活用につき今後共ご検討いただければ幸いです。本ご説明・意見交換会は、第 4 回以降、皆様の御意見を踏まえつつ、テーマを絞りながら発展的に随時開催させていただきます。

今後共皆様の御理解とご支援をよろしくお願い致します。

以上